

2025 年7月 25 日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

「九大イノベーションチャレンジファンド有限責任事業組合」への出資について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、国立大学法人九州大学(総長:石橋 達朗、以下「九州大学」)と、九州大学が 100%出資する九大 OIP 株式会社(代表取締役:大西 晋嗣)とともに設立した「九大イノベーションチャレンジファンド有限責任事業組合(LLP)(以下「九大 ICF」)へ出資を行い、事業に参画しましたのでお知らせします。

本ファンドは、創業後の新株予約権等の取得を条件に大学発の技術の事業化を支援し、創業から一定期間を経て事業が軌道に乗ったタイミングで新株予約権等を投資家などへ譲渡することで、資金を新たな創業支援の原資として活用し循環させていくことを目的とします。

三井住友トラストグループは、「託された未来をひらく」をパーパスとして定義し、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据え、「資金・資産・資本の好循環」の実現を目指しています。今回の九大 ICF への出資・事業参画を通じた取り組みは、当社の法人のお客さまや地域が抱える課題やニーズと、九州大学の高度な研究開発力に裏付けされた技術を結び付けるものです。当社は、大学の研究成果を対象とした事業化支援の仕組みとして初めて有限責任事業組合(LLP)を活用した永続的なスタートアップ創出支援の取り組みをサポートします。イノベーション創出に向けたファイナンス機能を発揮するとともに、元技術者を中心とするテクノロジー・ベースド・ファイナンスチームの技術的知見などを活用し、産・官・学・金(金融)の連携による社会課題解決に資するビジネス創造ならびに新たな資金循環の創出に取り組んでいきます。

《ファンド概要》

ファンド名	九大イノベーションチャレンジファンド有限責任事業組合
ファンド規模	25 億円(寄付含む)
支援対象	研究開発型スタートアップを目指す九州大学の研究成果

以 上